

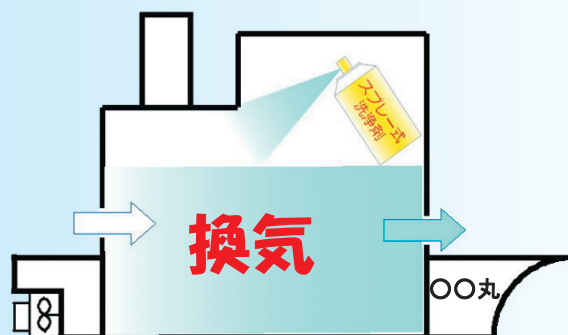
スプレー式洗剤を機関室で使用後、 爆発する事故が発生しています！

平成27年5月、長崎県佐世保市の遊覧船の機関室で爆発が発生し、作業員1人が負傷し、機関室と接する客室が損傷する事故が発生しました。

スプレー式洗剤は、LPGが含まれ、
可燃性及び引火性の高いエアゾールです。

狭く、閉鎖された空間で使用すると、可燃性ガスが滞留し、着火源が存在すると爆発する危険があります。

換気を十分に行いましょう！



- ・送風機を使用して換気する場合、使用する空間で電気火花が発生しないよう、防爆型の送風機を使用するか、送風機を同空間外において使用しましょう！
- ・換気を十分に行うことができない場合は、スプレー式洗剤を使用するのをやめましょう！



目指そう
爆発ゼロ！

スプレー式洗剤の本体に記載された用途、注意事項等を守って、安全に使用しましょう！

爆発事故例

発生日	船種	総トン数	概要
H20. 9. 15	漁船	9.1トン	本船は、機関修理業者が、通風装置のない機関室でスプレー式洗浄剤を使用した後、廃油ポンプモータの端子を電源につないだ際、爆発が発生した。
H21. 7. 30	水上オートバイ	5トン未満	本船は、船長が1人で乗船し、転覆した本船を立て直した後、スプレー式洗浄剤でキャブレターの空気吸込口に4～5回噴射した後、点火プラグを取り外し、機関の始動操作を行った際、爆発が起こって火災が発生した。
H23. 5. 2	プレジャーボート	5トン未満	本船は、船長が1人で乗り組み、知人3人を乗船させ、船だまりにおいて出発準備作業中、船長が主機の上部をスプレー式洗浄剤で洗浄後、エンジンケーシングカバーを閉じ、主機を始動した際、エンジンケーシング内で爆発が発生した。
H27. 4. 24	漁船	2.46トン	本船は、機関修理業者が、機関室の主機をスプレー式洗浄剤2本を使用して洗浄後、過給機の潤滑油管取付ねじを緩めようとしてスプレー式潤滑剤を噴霧し、更に同ねじにガスバーナの炎を近づけたところ、爆発が発生した。
H27. 5. 4	遊覧船	13トン	本船は、整備員2人が乗船し、機関室でスプレー式洗浄剤の約半分の量を主機に噴射して洗浄した後、バッテリーのプラス側とスタータコイルの端子を直接つないだところ、爆発が発生した。